

ほなみの風



子どもたちの力 ～児童会 あいさつ運動～

12月に行われた委員会活動において、「山王小学校がより明るく安心して学校生活を送るにはどんなことが必要か」を話し合った際、「挨拶の元気が足りない」という意見が出されたことから、冬休み明けの1月12日から24日までの間、児童会の計画委員が中心となって「あいさつ運動」を行いました。合い言葉の「あかるく いつも さきに つづけて」を全校みんなに呼び掛けながら取り組みました。「あいさつ運動」を通して、学校では今までにも増して気持ちのよい挨拶の声が響き渡っており、こうした子どもたちの自主的な取組の成果を感じます。

自分たちの生活を自分たちで良くしていこうという姿勢をこれからも大事に育てていきたいと思っています。



教室だけでなく、臨休中やPTA活動でもオンライン活用

学校では、学習活動でタブレット端末の活用を進めています。高学年の児童はもとより、低学年の児童も繰り返し使っていくことで、操作に慣れてきているようです。学校だよりでもお知らせしたように、1月20日・21日の臨時休業の際は、既に持ち帰り試行が済んでいた高学年がタブレット端末を自宅学習に活用しました。5年生では、「オンライン朝の会」を行い、自宅に居ながらも、タブレット端末を通して友達とつながることができ、画面上で明るい声が響き渡っていました。

また、1月26日のPTA選考委員会・運営委員会でもオンライン会議を行い、お忙しい中にもかかわらず役員の皆様に参加していただきました。感染拡大が進む中で、保護者の皆様に学校へおいでいただくことが難しい状況ですが、画面越しに役員の皆様とお会いすることができ、とてもうれしく思いました。お疲れ様でした。

コロナ禍で、皆が窮屈な毎日を過ごしていますが、子どもたちと共に、我々大人も新しいことに取り組む楽しさを感じながら、活用を進めていきたいと思いません。

